

# 平成30年度 御成門小学校の教育

## 港区の目指すべき子どもの姿

夢と生きがいを持ち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造することも

## 港区の学校経営の視点

- 子どもたちが安全で安心して過ごすことができる学校づくり
- 子どもたちが生き生きと学ぶことができる学校づくり
- 保護者や地域に信頼される学校づくり  
(港区学校推進計画より)

よく考えすすんで学ぶ子

力を合わせてやりとげる子

心も体もたくましい子

## 教育目標

- ・興味、関心、意欲をもって自ら課題解決に取り組む。
- ・自分の考えをもち、すすんで表現する。
- ・自分と違う見方や考え方を受け入れて、よりよく考えようとする。
- ・相手の立場にたって考えたり行動したりすることができる。
- ・誰とでもすすんで関わり、一緒に学習したり仕事をしたりすることができる。
- ・自分の役割がわかり、最後までしっかりとやりとげることができる。
- ・あいさつや返事がしっかりとできる。
- ・相手や場面に応じた言葉遣いや態度を考えて行動できる。
- ・基本的な習慣を身に付け、安全で健康に生活できる。
- ・元氣よく遊び、すすんで体を鍛える。
- ・困難なことであっても、あきらめないでやり通しことができる。

## 目指す学校の姿

- 明るく 笑顔あふれる 誰にとっても 心地よい御成門小学校に
- 子どもが安心して心を開き、喜々として学ぶ学校  
— どの子にも「優しい」、どの子にも「できる・分かる」指導を—
  - 保護者・地域に愛される学校  
— 互いに理解し合い、それぞれの役目を担って協力・連携を—
  - 地域に根ざした教育を実践する学校  
— 「地域を知り、地域とかかわり、地域から学ぶ」実践を—
  - 教職員が生きがいを感じる学校  
— 互いに磨き合い、高め合うチームとなって—

## 今年度の重点

自分のよさを実感して、そのよさを自ら伸ばそうとする意欲を育む  
互いに認め合い、互いを尊重する心を育む

## 基本方針

- 指導の工夫を通して、子どもの基礎的・基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力等の向上を図るとともに、主体的に考え、判断し、行動できる能力を育成する。
- 御成門中学校と連携して小中一貫教育を推進する。
- 特色ある教育活動や学校行事を通して、豊かな表現力を養うとともに互いに協力し、最後までやり通す粘り強い実践的な態度を育成する。
- 地域の環境や人材を生かした教育活動を推進し、歴史や文化に対する理解を深め、地域の一員として共に生きる子どもを育てる。
- 特別な支援が必要な子どものために、学校全体で情報を共有し子ども一人一人の人格と個性を尊重し、支え合える子どもの育成に努める。
- 国際理解教育や国際科の学習を推進し、国際人として必要なコミュニケーション能力の基礎を養う。
- 家庭や地域に教育活動や情報を積極的に公開するとともに、学校関係者評価を生かした学校運営に努め、社会に開かれた教育課程を推進する。
- 道徳科の授業を要として教育活動全体を通じて生命尊重の態度を育て、あらゆる偏見や差別をなくすとともに、子ども間の相互理解を深める教育を推進し、思いやりのある子どもを育てる。
- 全教職員がいじめは絶対に許さないという態度で組織的に指導に臨む。また、「御成門小学校いじめ防止基本方針」に基づくいじめの未然防止・早期発見・早期対応・早期解決を図る。
- 生涯を通して主体的に健康づくりができるよう、体育や保健指導・食育・朝運動などの機会において心身の健康への理解を深めさせる。

## 御成門小 5つの教育プラン

### 豊かな心の育成

- 人とのかかわり、思いやりのある温かな人間関係を築く
  - ・縦割り班や異学年での交流活動
  - ・正しい言葉遣いや礼儀等の指導
  - ・保育園、青ヶ島小、利島小、御成門中との交流
  - ・あいさつ運動の実施
- いじめや仲間外れのない所属意識をもてる学級・学校づくり
  - ・学級活動の充実、SSTの活用
  - ・ハイパーQUの活用、SCによる面接の実施
  - ・子どもが主体となった「ふれあい月間」の取組
  - ・いじめ対策検討委員会の定期開催
- きまりやルールを守る指導の徹底
  - ・「御成門スタンダード」「御成門の子」による統一した指導
- 道徳教育の充実
- 教育相談と特別支援教育の充実
  - ・SC、巡回指導教員との連携・協力

### 確かな学力の育成

- 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる
  - ・ねらいを明確にした授業の実践
  - ・補習タイムの設置
  - ・「東京ベーシック・ドリル」の活用
- 算数少人数指導の充実
  - ・子ども一人一人の学習状況に応じてきめ細やかな指導の実践
- 「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
  - ・問題解決的な授業の実践
  - ・思考力、判断力、表現力の育成
- 読書活動の充実
  - ・学校図書館司書、RASとの連携による読書指導、読書週間の取組
  - ・読み聞かせ（お話会）の奨励
  - ・学校図書館、低学年図書コーナーの充実
- ICTの効果的な活用、プログラミング教育の推進、情報リテラシーの育成
- 家庭学習の習慣化

### 健やかな体の育成

- 基本的な生活習慣の確立
  - ・保護者と連携して、「早寝・早起き・朝ご飯」の確実な実践
  - ・遅刻してくる子どもを減らす
- 体力づくり、健康づくりの推進
  - ・朝運動、マラソン大会等の全校的な体育指導の実施
  - ・外遊びを励行させる
- 食に関する指導の推進
- 安全教育の充実
  - ・年間計画に基づいて指導の徹底
- 避難訓練・防災訓練の充実
  - ・地域の実態を踏まえ、ねらいを明確にした指導の徹底
  - ・保護者、地域、関係諸機関と連携して防災訓練を実施
- 安全・安心な環境づくり
  - ・警備の充実
  - ・食物アレルギーへの適切な対応
  - ・清潔感にあふれた教室や学校

### 豊かな国際感覚の育成

- オリンピック・パラリンピック教育の推進
  - ・ASEANの国の方々との交流などを通して国際理解教育の推進
  - ・日本の文化や伝統の体験学習を推進（茶道、華道、和楽器の演奏、俳句大会の開催等）
  - ・地域清掃などによりボランティアマインドの醸成
- 国際科の授業改善を図る
  - ・NTとのチームティーチングの充実
  - ・英語を使つてのコミュニケーション能力の育成

### 家庭や地域との連携・協力

- 地域人材や地域素材を生かした体験的な学習の実践
  - ・地域の子どもは地域で育てる環境をつくる
  - ・地域を愛する子どもの育成
- 保護者・地域の方とのかかわりを積極的に進める
  - ・学校だより、ホームページ、学年だよりなど広報活動の充実
  - ・土曜授業日はすべて学校公開とする
  - ・保護者会をできる限り土曜日開催とする
  - ・学校支援地域本部の積極的な活用
- 学校評価の活用
  - ・7月と12月に保護者や学校評議員による学校評価を実施、評価結果の公表
  - ・年3回学校評議員会を開催
  - ・学校評議員による授業評価の実施

### 組織対応と教職員の能力・資質の向上

- 組織対応の徹底
- ・それぞれの職種や職層の役割の自覚
- ・事案決定ラインの徹底
- ・「報告、連絡、相談」の励行
- ・会議の厳選と校務の効率化
- ・全教職員で子どもを育成
- 研究・研修の充実
- ・校内研究の充実（H30・31年度研究奨励校）
- ・日常的なOJTの推進
- ・教員相互の授業観察を実施
- ・御成門中学校との連携
- ・幼稚園での研修
- ・研究会や研修会への積極的な参加
- さわやかな接遇
- ・保護者や地域の方への明るくさわやかな挨拶や丁寧で思いやりのある対応
- ・服装や身だしなみ、言動への配慮
- 公務員としての自覚
- ・服務事故の徹底
- ・危機管理の徹底